

2017年10月17日

報道関係者各位

東急不動産株式会社
安田不動産株式会社
株式会社パーク・コーポレーション

分譲マンション「ブランズ市川レフィール」
屋内緑化コンクールで最優秀賞を受賞
「緑あふれる快適な空間」などを評価

東急不動産株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:大隈 郁仁)と安田不動産株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:中川 雅弘)及び「青山フラワーマーケット」を運営する株式会社パーク・コーポレーション(本社:東京都港区、代表取締役社長:井上 英明)の三社は、このたび一般社団法人 屋内緑化推進協議会が実施する「屋内緑化コンクール2017」において、分譲マンション「ブランズ市川レフィール」(千葉県市川市)が最優秀賞にあたる農林水産省生産局局長賞を受賞しましたのでお知らせします。

【受賞理由】

「内と外の境界を感じさせない植物とソファのレイアウトや、壁面緑化に囲まれて配置されたインターフォンがエントランスを緑あふれる快適な空間として演出されている。壁面緑化はその足元にある緑とつながり、不自然さを感じさせない工夫がされている。曲面のコンテナに囲まれたソファは、そこで過ごす中で植物を見たり触ったり、コミュニケーションが生まれる空間になっている。演出力、植物量共に優れた事例として高く評価され選ばれました」



豊富な緑に囲まれた
インターフォン

ブランド市川レフィールは「Re:sort マンション ～自分自身を取り戻す住まい～」をテーマに、入り口の正面に遠くから認識できる大きな壁面緑化を採用するなど、建物の顔になるエントランスに花と緑と共存するための工夫を取り入れ、入居者の方々が毎日を心地よく過ごせる空間を目指しています。今回の植栽プランニングはパーク・コーポレーションが手がけました。

壁面緑化に囲むような形で配置したインターフォンが植物を身近に感じさせ、曲線状のラインは光を追い求めた自然の成り立ちを表現するなど、五感を刺激してやまないエントランスに仕上げました。壁面の緑は足元の植栽とのつながりをつくり、地から壁へ伸び上がっていくような自然のストーリーを演出しました。エントランスのミラーでは花と植物と一緒に暮らす入居者ご自身の姿を確認することができます。



地面から天井へとつながるイメージの壁面緑化



緑に囲まれたベンチのある空間

共用部には内と外との境界を感じさせない植物の自然の流れの中にソファを配置しており、生活の中で植物を見たり触ったり、コミュニケーションが生まれたりする空間にしました。空間に奥行きを持たせることだけでなく、植物を身近に感じさせる仕掛けが本当の狙いです。

【プランズ市川レフィール物件概要】

- 所在地 : 千葉県市川市真間1丁目76-1他(地番)
- 交通 : JR総武線「市川」駅徒歩8分、京成線「市川真間」駅徒歩3分
- 総戸数 : 111戸
- 間取り : 3LDK~4LDK
- 専有面積 : 77.83㎡~88.37㎡
- 敷地面積 : 3,611.22㎡
- 建築延床面積 : 9,829.40㎡
- 構造および階数 : RC造地上14階建
- 建物竣工 : 2016年2月
- 売主 : 東急不動産株式会社、安田不動産株式会社
- 販売代理 : 東急リバブル株式会社
- 施工会社 : 株式会社鍛冶田工務店、株式会社大城組
- 管理会社 : 株式会社東急コミュニティー

【屋上緑化コンクールの概要】

一般社団法人 屋内緑化推進協議会が屋内緑化の社会的意義や効果をより多くの人に伝えるため、屋内緑化が職場や家庭環境の改善などに寄与している事例を表彰しています。今年の応募点数は46点でした。

●審査委員

- | | |
|-------|--------------------|
| 近藤三雄 | 東京農業大学名誉教授(審査委員長) |
| 安藤敏夫 | 千葉大学名誉教授 |
| 飯島健太郎 | 東京都市大学環境学部環境創生学科教授 |
| 町田ひろ子 | 町田ひろ子アカデミー代表取締役 |
| 槇島みどり | 東京農業大学客員教授 景観デザイナー |
| 藤田茂 | 屋内緑化推進協議会理事 |

＜本件に関するお問い合わせ先＞

東急不動産 企画政策部 広報室 林

TEL:03-5414-1349 FAX:03-5414-1350

本資料は本日付で国土交通記者会・国土交通省建設専門紙記者会へお届けしています。